

取組の効果

- 運賃面での連携により、バスと鉄道の双方を同じ地域旅客運送サービスとして利用することが可能となるため、**移動手段の選択肢が広がり、利便性が向上**する。
- 利用者の増加に伴う増収により交通事業者の**経営力を向上し、基盤的サービスの提供の維持**に繋げる。

◆ 徳島県南部地域の交通サービスの利便性向上

(阿南駅の例) 同じ運賃体系で利用可能な交通サービス

今まで	これから
阿南発 (牟岐方面)	阿南発 (牟岐方面)
12:21 	12:21 
14:21 	13:03 
15:50 	14:21 
19:22 	15:33 
22:12 	15:50 
	19:22 
	19:58 
	22:12 

令和4年3月12日時点

【運行本数増と同等の効果】

- バスと鉄道を同条件で利用することが可能となり、徳島県南部地域において**同じ運賃体系で利用可能な南北軸の交通サービスの運行本数の増加と同等の効果**が生じる。

【平均運行間隔の短縮】

- 上下線ともに同じ運賃体系で利用可能な交通サービスの**平均運行間隔が20分以上短縮**となる。

◆ 交通事業者の経営力の強化

徳島県南部地域における公共交通の利便性向上に伴う利用増等により、利用者の確保を見込む

基盤的サービスの維持